

保健だより

NO. 8

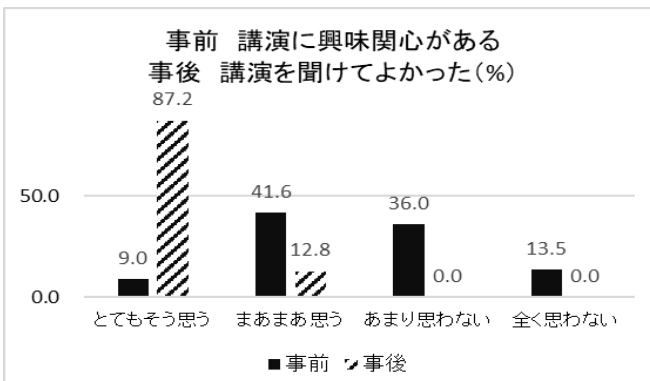
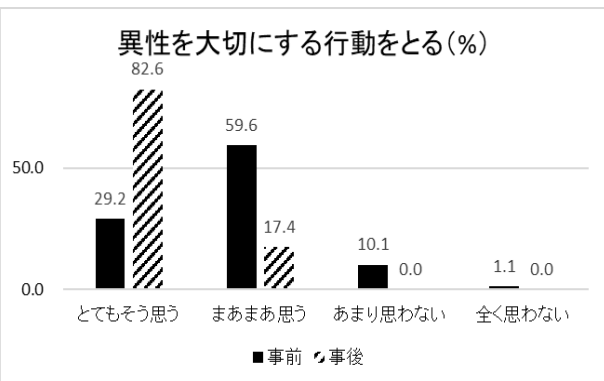
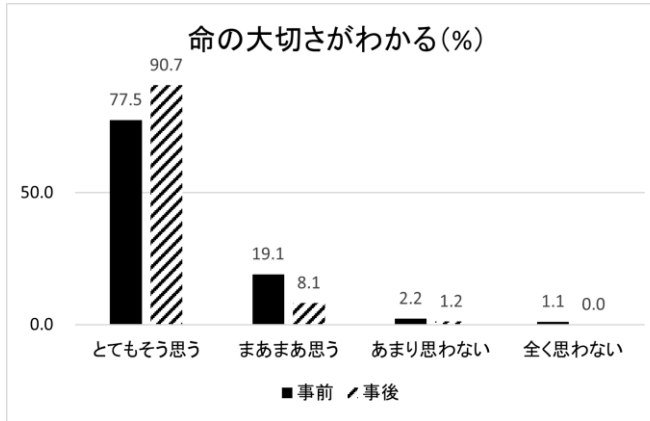
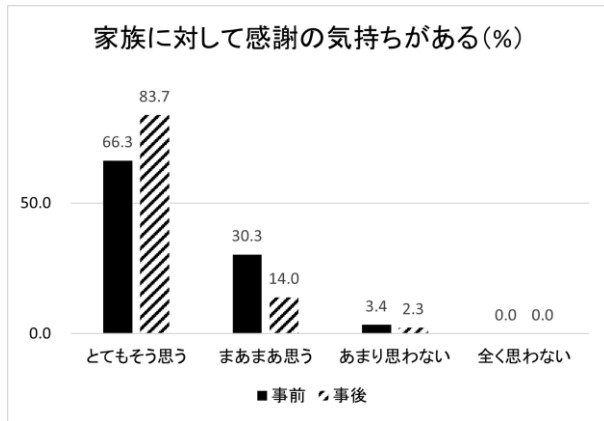
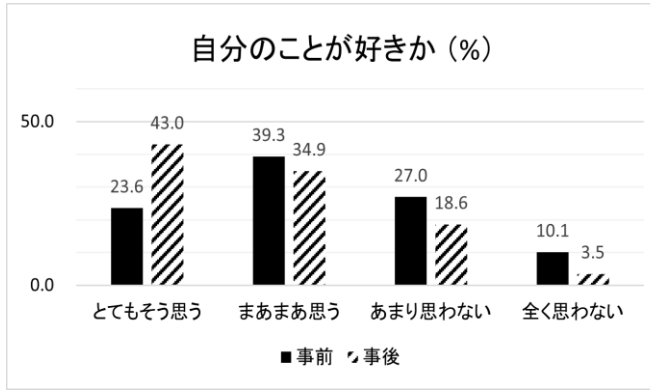
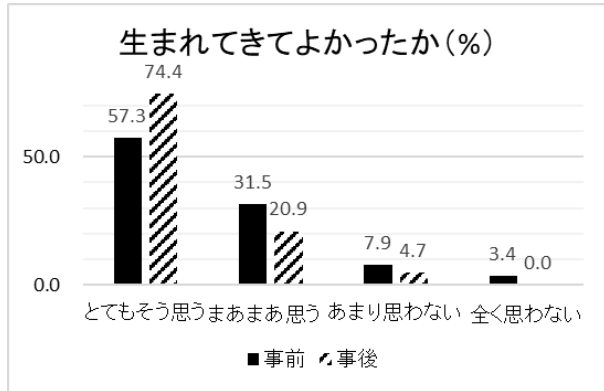
令和6年12月2日 江戸崎中学校保健室



思春期親子講演会

11月20日(水)、龍ヶ崎済生会病院 産婦人科医 陳 央仁 先生を講師にお招きして、1年生と保護者を対象に思春期親子講演会を実施しました。「自分(いのち)を大切に生きてするために～君は愛されるため生まれた～」というテーマで、命について考える貴重な時間となりました。講演会では、スライドを真剣に見たり、陳先生の話をしっかり聞いたりする生徒の姿が見られました。講演会の事前・事後アンケートの結果と生徒の感想の一部をご紹介します。

※事前アンケート89名、事後アンケート86名 実施



《生徒の感想》 *一部抜粋

○講演で、命の大切さがとてもよく分かった。私は今まで「生まれてこなければよかった。」等のネガティブな思い込みをしていたけど、今日の講演を聞いて「頑張って生きてみようかな。」と想ったりした。赤ちゃんの映像を見て、産むのはとても大変そうだったし、「ものすごく痛い陣痛がくる」と教えてくださり、赤ちゃんを産むのは大変だと思った。あと、女の子は小さい赤ちゃんの頃から(卵子ができている等)準備してびっくりした。将来、赤ちゃんを産むか分かりませんが、赤ちゃんを大切に育てていきたい。そして、良き友人に助けをもらいながら、将来の夢に向かって頑張っていきたいと思う。

○性感染症とか色々な種類があることも分かり、これからも自分の体を大切にして、これからの人生を深めていきたいなと思った。手足がない人や生まれつき不自由な人もたくさんいて、それでも前向きに生きていて、みんなと違いながらもその自分を受け入れていることに感動した。健康に生まれることができたということにありがたく思う。

○性感染症は、自分が思っていたよりも危険で、一線を越えるといつでも起こるリスクがあることが分かった。命については、生まれてくるということは、親にとってとても喜ばしく、嬉しいことだと分かった。これからは親に感謝をし、1分1秒を大切に生活したい。

○講演会を受けて、自分に自信がついたし、これから危険になってくる性感染症について知ることができた。アシュリーの「どう幸せに生きるかが大切だ。」という言葉が一番心に残った。この世界には戦争などで死んでしまう人たちがいるから、自分は一生懸命に生きようと思った。

○女性と男性では、性に対する考え方が違うことや、大切な命を壊すものは防げることが多いことが分かった。SNSを通じた性被害の多さにも驚いた。私も、本当に愛し合える人ができた時に、相手を大切に、相手を守れる人になりたいと思った。

○命の大切さやお母さんお父さんがどんな気持ちで産んでくれたかが分かったし、友達の大切さや、家族の大切さ、相談することの大切さなどを知れた。また、これからは家族や友達を大切に、自死やいじめなどせず、生活をしていきたい。

○私の親も私のことを苦勞して産んでくれたのに、親に対して反抗的な態度ばかりとってしまうので、反抗しそうな時は、「君は愛されるために生まれた」の歌詞を思い出して気をつけたいと思った。将来の夢は、臨床心理士だ。これからは友達や家族の悩みを聞き、夢へ近づきたい。

○「生きているだけで百点満点」「あなたがただそこに存在するという事実だけで救われる人がたくさんいるということをどうか忘れないでほしい。」という言葉が印象に残った。

○人間は愛されるために生まれてきて、生まれたことが奇跡だということが分かった。愛とは、相手を大切に、相手を守ることで、欲とは、相手を傷つけても自分を満足させることで、愛と欲は違うことを学んだ。

＜保護者の方へ＞

今回は、対象が1年生ということで、内容が少し難しかった場面もあったと思いますが、講演会を通して命の大切さを改めて実感し、障害や病気があってもたくましく生きている方の姿を見ることができました。また、陳央仁先生のこれまでの人生での体験、産婦人科医としての経験などのお話を聞くことができ、貴重な時間になりました。生徒の感想やアンケートから、「命の尊さについて」「家族への感謝」「友達の大切さ」「これからの将来について」など、深く考える様子が見られました。また性感染症は、高等学校で詳しく学ぶ病気ではありますが、知る良い機会になったと思います。ぜひご家庭でも話し合ってみてください。